

## 平成22年度富県創出モデル事業の取組状況(団体間協働による取組)

取組テーマ	観光	ポートセールス	大学と企業とのマッチング	
目的	第一次産業から第三次産業までの産業体験学習メニューの掘り起こし、教育旅行・体験旅行の商品化、人材育成を含む受入体制の整備等を進めることにより、本県の観光地としての魅力を高め、観光客の増加を図る。	仙台港を利用したモーダルシフトによるコスト低減効果把握や輸送工程を映像化した新たなセールスツールを構築する。関係団体と協働化した活動を展開し、仙台港への貨物集荷等の利用促進、企業の輸送コスト削減と地域経済活性化を図る。	県内大学のニーズ(研究に資する資材、部品、設備等の製作等)を県内企業の技術で解決する事を通じ、企業を大学等に知っていただく(知産地消)とともに、企業の技術向上に結びつく、新たな産学連携モデルの構築を目指す。	
概要	(1)事業名	産業観光推進事業	大学等ニーズ活用産学連携推進事業(大学等ニーズ活用マッチング支援事業)	
	(2)協働団体	宮城県商工会議所連合会、宮城県商工会連合会、宮城県中小企業団体中央会、宮城県観光誘致協議会、宮城県漁業協同組合 【オブザーバー】東北運輸局	(社)みやぎ工業会、宮城県中小企業団体中央会、(社)宮城県情報サービス産業協会、東北大学、東北学院大学	
	(3)事業概要及び今後のスケジュール	①県内における教育旅行誘致活動 ・中学校訪問による教育旅行ガイドブックの配布、説明(6~9月) ・旅行事業者と受入地域との意見交換会(7月) ②県外学校等への教育旅行誘致活動 ・首都圏(7月)、関西圏(10月)、北海道(12月) ③モニターツアー(現地研修会)の実施 ・現地研修会(南三陸・蔵王)(8月) ④教育旅行誘致のためのDVD・ホームページ作成(H23.3月完成) ⑤受入体制の整備 ・各地域の商工会等と連携した就業体験受入地域の拡大(H23.3月) ⑥教育旅行関係者、受入地域、自治体等を対象とした研修会・事業説明会の開催、勉強会への講師派遣(~H23.3月)	①輸送効果把握 ・仙台港利用のトライアル(試験)輸送を行い、京浜港利用の場合と比較した効果を把握 ②輸送効果の可視化 ・説得力あるポートセールスを行うため、仙台港のロットやトライアル輸送の結果をまとめたDVDを作成 ③関係団体協働による推進体制整備 ・仙台港利用促進のため、関係団体との協働によるDVD等を活用した物流検討会の開催等 【事業実績等】 ・プロモーション用DVDの基本内容確定(6月) ・トライアル輸送の対象企業募集(6~7月) ・トライアル輸送の実施(1社目・7月) ・トライアル輸送の実施(2社目・8月) ・物流勉強会の開催(H23.1~3月)	①(社)みやぎ工業会に検討組織「大学ニーズとのマッチングワーキンググループ」設置(H21.8月) ・大学、先達企業等の調査方法の検討 ・マッチング事業案の検討等の実施 ②趣旨説明、現状調査 ・東北大学、東北学院大学への継続的な訪問(H21.8月~H22.4月) ・東北大学工学研究科研究企画会議へのオブザーバー参加(5月、6月、7月) ③大学との取引を希望する企業を募集(~9月頃まで) ④企業と研究室のマッチング事業(9月~) ⑤産学官交流フェア、東北大学イノベーションフェアの活用(10月)
	(4)事業費	2,500千円	2,610千円	非予算的手法による事業実施
県関係部署	観光課、農村振興課、義務教育課	港湾課	新産業振興課	